



稲作情報第6号

（生育状況、カメムシ対策、高温対策）

JA夢みなみ（すかがわ岩瀬地区・あぶくま石川地区）、県中農林事務所須賀川農業普及所

令和8年7月22日～

令和8年9月1日

1 気象庁発表 東北地方発表 1ヶ月予報（7月19日～8月18日までの見通し）

期間の前半では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わってでしょう。平均気温が高い確率が60%と高い見込み、降水量および日照時間はほぼ平年並の見込みとなっています。

2 生育状況

○草丈は平年並かやや短く、茎数は平年並かやや多く、葉色は平年よりも淡い傾向です（表1）。

○近年は高温の影響で、いずれの品種も生育が平年よりも数日程度早まっている傾向です（表2）。

○表2は5/15移植のデータのため、5月の連休頃の移植の場合、さらに出穂が早まります！

表1 生育調査結果（7月15日調査）

品種・場所 移植日	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)
コシヒカリ 須賀川市 長沼 5/3	本年	74.8	571	29.9
	前年	79.6	504	30.0
	平年	77.7	570	32.8
	平年差・比	96	100	-2.9
コシヒカリ 須賀川市 岩瀬 5/2	本年	72.8	567	31.2
	前年	85.5	620	31.7
	平年	78.6	542	36.0
	平年差・比	93	105	-4.8
コシヒカリ 石川町 5/1	本年	79.2	661	29.5
	前年	88.6	495	30.6
	平年	78.7	479	32.8
	平年差・比	101	138	-3.3

表2 生育ステージの目安

（農業総合センター（郡山市）、5/15移植）

品種	年次	幼穂形成始期	出穂期
コシヒカリ	本年	未達	未達
	前年	7/16	8/7
	平年	7/18	8/8
ひとめぼれ	本年	7/10	未達
	前年	7/8	7/29
	平年	7/11	7/31
天のつづ	本年	7/10	未達
	前年	7/11	8/2
	平年	7/11	8/3

※幼穂形成始期は幼穂長が1～2mmに到達した日

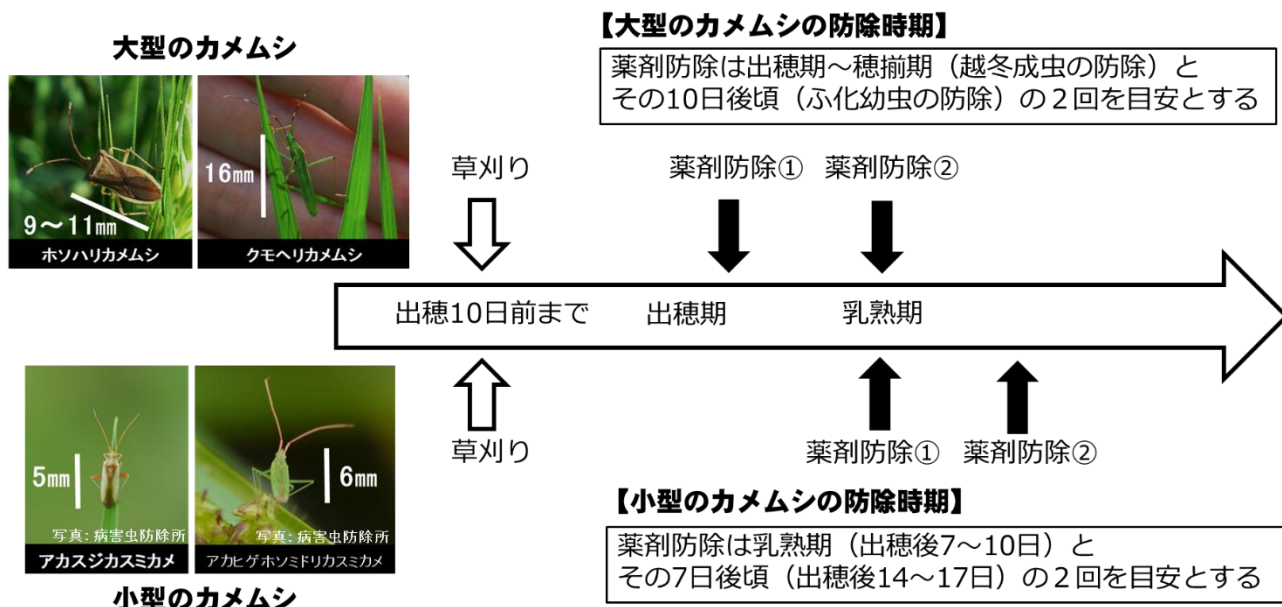
※出穂期はほ場内の40～50%が出穂した日

※平年値は表1、2のいずれも前5カ年の平均値

3 主な病害虫の発生予察と対策 ～斑点米カメムシ類注意報発令中～

病害虫名	発生時期	発生量	防除上注意すべき事項
いもち病 (穂いもち)	平年並	平年並	・上位葉に病斑がある場合、薬剤防除（穂への感染を防ぐため） ・水面施用剤は出穂前、散布剤は穂ばらみ末期と穂揃期に施用 ・薬剤耐性菌の発達を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避ける
紋枯病	平年並	やや多	・窒素肥料の多用を避ける ・水面施用剤は出穂前、散布剤は穂ばらみ期～穂揃期に施用 ・気温が高いと上位葉鞘への伸展が進む。特に 前年に発生が多かったほ場では注意！
斑点米 カメムシ類	やや早	やや多	・畦畔や水田周辺のイネ科雑草の穂は斑点米カメムシ類の増殖源になるため、 草刈りを励行し、イネの出穂10日前までに終了させる 。出穂10日前以降の草刈りは水田内にカメムシを追い込むことになるため控える。薬剤防除は4参照。

4 斑点米カメムシ類対策の薬剤防除の注意点 ～カメムシの種類で防除時期が違います～



5 高温対策

- 出穂後 20 日間の日平均気温が 26℃ 以上 → 白未熟粒が発生しやすい
○出穂後 10 日間の日最高気温の平均が概ね 33℃ 以上 → 胴割粒が発生しやすい ← **対策が必須！**

(1) 飽水管理

- 穂ばらみ期から出穂期は、稲が特に水を必要とする時期です。水分が不足すると、不稔粒が増えるため、**水深 2～5cm 程度の湛水管理**を基本とします。
- 出穂後が高温の場合、飽水管理**（田面にひたひたの水がある状態を保つ管理）をすることで地温の上昇を抑えることができます（図1）。

飽水管理（高温対策）

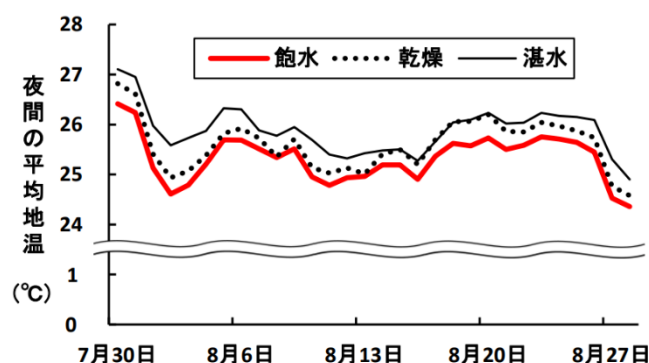
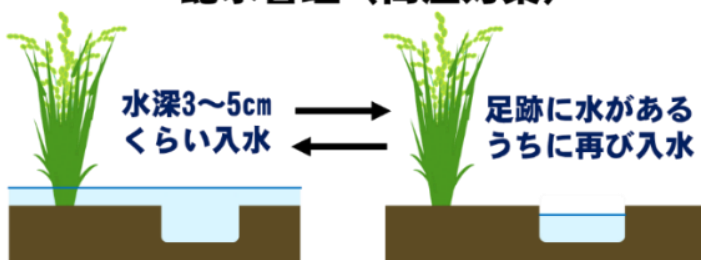


図1 【参考】水管理期間中の夜間平均地温の推移
農業総合センター（郡山市）の研究成果より
※1日のうち 0:00～5:50、18:00～23:50 の平均値

(2) 出穂期追肥

- 高温時の出穂期追肥（実肥）により整粒歩合が向上し、白未熟粒の発生割合が低下します。
- 基肥一発肥料を施用した場合でも、極端に葉色が薄い場合は、出穂直前に窒素成分で 1kg/10a（硫酸で 4.5kg）を上限に施用します。
- 実肥は食味低下の要因**ともなりますので、生育に応じた実施の判断が必要です。

※熱中症に注意！のどが渇いていなくても、定期的に水分・塩分をとりましょう。気温が高い時間帯は作業を行わないようにしましょう。体調不良を感じる前に日陰など涼しい場所に避難して体を冷やし、水分と塩分を摂りましょう。

- ◆農薬危害防止運動実施中（6月10日から9月10日）です。
- ◆農薬を使用する前に、ラベルの確認と周辺への配慮及び飛散防止対策の徹底をお願いします。

県中農林事務所須賀川農業普及所
電話(0248)-75-2180

ご不明の点は、JA夢みなみ、須賀川農業普及所にお問い合わせください
次回の発行予定日は令和8年9月2日（水）です。